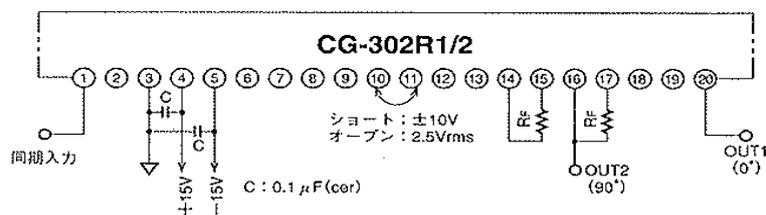


純度の高い正弦波信号を簡単に得られる発振器

CGシリーズのご紹介

計測などで信号源を扱う際、発振源の周波数精度、出力電圧精度が大きな問題になります。精度の高い計測を行う為には発振器の選択が重要になります。

機能、性能、使いやすさを高いバランスで実現した CG シリーズ



●CGシリーズは使用がとても簡単です！！

- ① ~ ③の簡単な設定で、周波数精度、出力電圧精度に優れた正弦波を発振
- ① 発振周波数を決め抵抗を接続（計算式:CG-302R1 の場合 $R_F=15.9 \times 10^3/f_0(k\Omega)$ ）
- ② 出力電圧の設定(10 番ピン-11 番ピン → ショート:±10V, オープン:2.5V_{rms})
- ③ 電源の接続(±15V)

●CG シリーズの特徴

- ・内部回路はレーザートリミング及び部品を選別して精度を出している為、無調整で特性の揃った高性能正弦波発振器が手軽に組めます。
- ・使用用途によって豊富な関連製品が選択できます
 - 周波数帯域、同期入力と 90° 位相の遅れた出力の有無、
 - BCD3桁で発振周波数を設定できるモジュール(OP-102+DT-212D)
 - ノイズジェネレータモジュール(CG-742N)